

令和3年度 第1回総合隣保館運営委員会次第

日 時 令和3年4月13日 (火)

午後7時～

場 所 総合隣保館

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 報告事項

(1) 令和2年度 総合隣保館事業実施状況

(2) 令和2年度 総合隣保館事業利用状況

5 協議事項

(1) 令和3年度 総合隣保館運営方針 (案) について

(2) 令和3年度 総合隣保館事業計画 (案) について

6 その他

7 閉 会

総合隣保館運営委員会委員名簿

(委員長) 小林 伶子

(副委員長) 岡本壽美子

No.	区 分	名 前	所属
1	教育関係者	藤井 克成	校長会
2	社会福祉関係者	春川 政信	団 体
3		西本 公仁	団 体
4		齊藤 幹雄	団 体
5		西本 正仁	団 体
6		小林 誠	団 体
7		小林 伶子	学識経験者
8		関係行政機関の職員	安福 昇治
9	公募による者	岡本壽美子	公 募
10	〃	岡田 洋子	〃

任期：令和2年6月1日～令和3年5月31日

令和2年度総合隣保館事業実施状況

1 総合隣保館運営委員会

回	開催日	審議内容	出席人数
1	3月	(1) 令和元年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和元年度総合隣保館利用状況について (3) 令和元年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和2年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和2年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	開催中止 新型コロナ ウイルス感染 拡大のため
2	7月28日	(1) 令和2年度同和教育セミナーについて (2) 令和2年度総合隣保館事業実施状況について (3) 令和2年度人権フォーラムの開催について (4) 第37回総合隣保館文化祭について (5) その他	9人
3	4月13日	(1) 令和2年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和2年度総合隣保館利用状況について (3) 令和2年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和3年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和3年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	9人

2 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内容	人権相談の内訳(9件)
隣保館職員	・人権相談 9件	・同和問題 1件
	・福祉相談 3件	・女性 1件
	・教育相談 0件	・高齢者 1件
	・職業相談 0件	・子ども 1件
	・生活相談 17件	・外国人 1件
	・その他相談 8件	・生活 2件
	小計 37件	・障がい者 1件 ・その他 6件
商工会議所派遣職員	・経営相談 20件	
	・税務相談 62件	
	・金融相談 2件	
	・労働相談 1件	
	・経理相談 0件	
	・その他相談 4件	
	小計 89件	
計	126件	

3 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区（集会所）等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
陶芸教室 (吉田)	陶芸の制作を実施 食器づくり	1回	11人

4 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

(1) 啓発活動事業

ア 同和教育セミナー

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題解決のために必要な知識を得るための研修の場として実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

イ 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が願いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施し、本年度は紙面開催とした。

発表者

「別所ふるさと交流館」 さとの会 会長 田中 邦昭 さん
「違いは何だと思えますか？」 三木市国際交流協会 会員 シリア出身 バダウィ ラニームさん
「日本のステレオタイプについて」 三木市国際交流協会 会員 インド出身 パール マヘンドラ クマールさん
「ひとりの力、みんなの力」 ～隣保館文化祭中止案から文化会館大ホール開催へ～ 三木市立総合隣保館 副運営委員長 岡本壽美子さん
「差別をしないですむなら」 黒田富士夫さん
「高齢者と学びについて」 ～高齢者大学における学習を通して～ 三木市高齢者大学 教務主任 藤原 良一さん
「特別支援学校高等部卒業生の進路について」 ～のじぎく特別支援学校の進路状況・進路指導を例に～ 兵庫県立のじぎく特別支援学校 進路指導部 小山 真永さん

ウ 文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施する。

本年度は市民じんけんの集いと合同開催とした。

・記念講演

『へこたれへん～人はきつとつながれる』

みえ人権教育・啓発研究会 松村智広 氏

エ 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

視察研修会

開催日	行き先	出席人数
9月12日(土) 8:30～17:00	・篠山方面	29人

フィールドワーク

開催日	行き先	出席人数
3月13日(土) 8:00～18:00	・奈良フィールドワーク～部落解放運動に立ち上がった青年の思いに学ぶ～ *おおくぼまちづくり歴史館 *水平社博物館とその周辺 (三同教共同開催)	18人

オ 図書の実用と利用

- (ア) 貸出冊数 56冊
- (イ) 貸出人数 18人
- (ウ) 購入冊数 18冊（一般 0冊、子ども 18冊）

(2) 広報活動事業

ア 隣保館だよりの発行

- (ア) 発行部数 毎月発行 4,600部
- (イ) 配付先 市内全自治会（回覧）、公共施設、各支部等

イ 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- (ア) 発行部数 1,200部（年1回）
- (イ) 配付先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

※「4 啓発広報活動事業」の人権フォーラム参照

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。

(1) 教養文化講座

2月末現在

	教室名	実施回数	述べ参加人数	指導者	備考
1	手芸教室	18回	108人	嶋田千津子	月2回
2	茶道教室	29回	72人	杉本さわゑ	月3回
3	書を楽しむ きらきら 書道教室	8回	134人	藤原常貴	月1回
計		55回	314人		

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内容・講師	参加人数
フラワーアレンジメント教室	12月26日(土) 13:30~15:30	テーマ「新春を生ける」 (講師)田中真紀	10人
	2月26日(金) 18:30~20:00	テーマ「ひなまつり」 (講師)田中真紀	13人
計			23人

(3) 子ども教室

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

ア 夏休み子ども教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

教室名	実施回数	述べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	4回	39人	館職員	主に第2・4土曜日
交流ハイキング	1回	11人	館職員	
計	5回	50人		

(4) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は人権週間の期間中に市民じんけんの集いと合同開催とした。

開催日	審議内容	出席人数
12月6日(日) 9:00~16:30 三木市文化会館 大ホール・展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動ポスター・標語・作文優秀賞受賞者表彰 ・人権作文朗読 ・記念講演 『へこたれへん～人はきつとつながれる』 みえ人権教育・啓発研究会 松村智広氏 ・隣保館関係団体による作品展示 	355人

6 社会調査（高齢者単独世帯への訪問活動）

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施した。詳細は別添資料参照のこと。

7 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を研究中。

8 その他

隣保館改修大規模工事

① 耐震壁及びエレベーター設置工事

令和2年 7月28日開始

令和2年11月30日完成

工事費 30,734,000円

国 15,367,000円

県 7,683,000円

市 7,684,000円 負担

② 空調機、屋根防水改修工事（令和3年度に繰越）

補助対象総工事費

約20,751,500円

令和2年度総合隣保館事業の成果と課題

1 総合隣保館運営委員会

○成果

隣保館事業の内容等の議論を深め、特に新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じる中、文化祭代替え案など活発な意見が出た。

●課題

現在もなお感染者が増加しており、今後も新型コロナウイルスの状況が不透明であることから、来年度に向けて事業をどう進めるかを引き続き検討する必要がある

2 相談事業

○成果

適切な指導や助言により他機関とも連携しながら進めることができた。相談により生活状況が改善されたケースもあった。

●課題

一度だけの相談ではなく、継続して解決に向けてアプローチしているケースもある。研修や関係機関・各分野の専門員との情報交換を通してこれからも館職員の対応力を高めていくことが必要であるとともに館職員と来館者が交流を深め、気軽に相談が出来るような雰囲気づくりを心がけることが重要である。

3 地域福祉事業

○成果

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら、事業を実施することができた。

●課題

引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながら、地元と協議し、同事業を実施するかどうか考える必要がある。

4 啓発広報活動事業

○成果

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策のため、事業の中止や縮小を余儀なくされる中、運営委員会での活発な意見交換等により工夫して開催することができた事業もあった。

●課題

今後、実施、中止にかかわらず同和教育セミナー、人権フォーラム、文化祭記念講演会等のテーマや講師、視察研修会の行先など、人権課題や市民のニーズを分析して企画するとともに、情報や研究、人材のネットワークづくりを関係職員一人ひとりが広げていく必要がある。

5 教養文化及びその他に関する事業

○成果

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、人権・同和問題の解決を図るため、教養文化講座、生活講座、子ども教室を行った。

●課題

少子高齢化に加え、新型コロナウイルスの流行により主催講座の参加者がさらに減少傾向となった。また子ども教室等も同様であった。

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動)

○成果

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら、高齢者世帯への訪問や面談を実施することができた。

訪問の結果、ほとんどの方が通院しており、健康問題を抱えておられる。

これまでの訪問を通じて訪問員の顔を覚えていただいております、話を深められる方も出てきた。

本年度は調査シートなど改善したので、調査しやすくまとめやすくなった。

●課題

対象者が高齢であるため、玄関先で立ったまま時間をかけて話を聞くことは困難である。調査シートの改善を行い、結果をまとめやすくしたもの、重要事項を聞き漏らす可能性もあり、調査方法やシートなど、今後も十分な検討を加えて改善していきたい。

7 所蔵図書の整理について

○成果

隣保館の人権関係の図書は充実しているが、多くの来館者の希望に沿えるよう、毎年中央図書館より図書（一般書、絵本等）を借用し、閲覧、貸出できるようにしている。また、夏休みの課題図書を購入し貸出を行うので、子どもの利用促進にもつながっている。

館で所蔵している図書のデータベース化作業が完了している。

●課題

データベース化の完了に伴い、コンピューターでの本の検索や管理を行うシステムを試作している途中である。

8 まとめ

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業の中止や縮小、代替えなど例年から大幅に形を変えて事業を実施することになった。

特筆すべきは、開催が困難であると考えられていた文化祭について、

場所を変えながらも、他の催しと合同で開催できたことである。

人権を大切に思うことは、どんな時期においても人として見失うことなく、いつも心で温め続けていくものである。

本年度は運営委員をはじめ関係者の方々の、その人権を大切に思う心が一丸となり、コロナ禍の苦しい状況に打ち勝ったということが最大の成果であったと考えている。

令和3年度総合隣保館運営方針

総合隣保館の運営は、厚生労働省の隣保館設置運営要綱及び「部落差別の解消の推進に関する法律」「三木市人権尊重のまちづくり条例」「三木市人権尊重のまちづくりに向けた意識実態調査」及び総合隣保館活性化構想に基づき、以下の方針で事業を推進する。

- 1 我が国固有の人権問題である同和問題を基軸として、女性、高齢者、障がい者、子ども、外国人などさまざまな人権問題に取り組み、人権や社会福祉制度に関する幅広い知識の習得や情報の収集・発信を積極的に行う。
- 2 「人権尊重のまちづくり」の視点から、地域における人権の課題、生活上の課題を解決するための取組を推進する。
- 3 あらゆる差別解消への展望に立った啓発に向けて隣保館運営委員会をはじめ各関係機関と連携して推進する。
- 4 「部落差別の解消の推進に関する法律」について
 - (1) 第4条（相談体制の充実）の趣旨を踏まえ、総合隣保館の主事業である相談事業を人権、福祉、保健、経営、職業等生活全般にわたり更なる充実を図る。
 - (2) 総合隣保館の設置の趣旨を踏まえて、「人権尊重のまちづくり」のための啓発拠点として活動の強化・充実を図る。
- 5 社会調査研究については、高齢者世帯への訪問・面談調査を実施し、実情を把握したうえで、関係機関と調整を図りながら、生活の改善を図る。
- 6 地域住民の参加に支えられた人権にかかわるコミュニティーセンターとして、地域活動を推進するとともに、地域住民の交流活動を促進する。
- 7 新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた上で、改良や工夫を加えて事業を推進するとともに、人権を守るために積極的な啓発及び周知を図る。

令和3年度総合隣保館事業計画

- 1 総合隣保館運営委員会 (主) 藤田 (副) 橘田・鈴木
 隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催する。

回	開催日	内 容
1	4月13日	・令和2年度事業実施結果について ・令和3年度事業計画について
2	7、8月	・新運営委員によるスタート ・上期の事業実施状況について ・第38回総合隣保館文化祭について
3	3、4月	・令和3年度事業実施状況について ・令和4年度事業計画(案)について

- 2 相談事業 (主) 橘田 (副) 藤田
 地域住民に対し生活上の相談に応じるとともに、適切な指導助言を行う。

相談名	相談日	時 間
人権相談	随時	8時30分～17時
経営相談	毎週火・金曜日	10時～16時
職業相談	随時	8時30分～17時
教育相談	〃	〃
生活相談	〃	〃
そ の 他	〃	〃

- 3 地域福祉事業 (主) 橘田 (副) 鈴木
 地区住民の課題を把握し、地区住民の福祉の増進、生活の向上を図る取組を推進する。

- 4 啓発・広報活動事業
 あらゆる人権問題の解決をとおして、お互いの人権を尊重し合える社会の実現に向けて以下の啓発・広報活動を実施する。

(1) 啓発活動

- ア 同和教育セミナー (主) 藤田 (副) 鈴木
 例年、6月に3回、金曜日の夜(19:30～21:00)に開催
 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法を変更する必要がある
- 1 案・・・時期を変更する。(例えば、令和4年1～2月)
 - 2 案・・・同一内容で複数回開催し、密を避ける。
 - 3 案・・・映像化(DVD貸出)、リモート配信などの手法を取り入れる。

イ 人権フォーラム (主) 藤田 (副) 鈴木

人権問題の解決を自らの生き方に密着したものであるとの認識に立ち自主的に研修する市民の集いとして実施する。

① 意見発表

期 日 令和3年10月15日(金)、19日(火)、22日(金)

場 所 総合隣保館

内 容 1回に3人～4人の発表

ウ 文化祭記念講演会 (主) 藤田 (副) 鈴木

12月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題の感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として、文化祭において実施する。

① 記念講演会

期 日 令和3年12月5日(日)

講 師 未定

エ 館外視察研修・フィールドワーク (主) 鈴木 (副) 橋田

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く機会として実施する。

① 館外視察研修

期 日 令和3年9月予定

場 所 未定

② フィールドワーク (※三同教と共同開催)

期 日 令和4年3月中旬予定

場 所 未定

(2) 広報活動 (主) 赤松 (副) 藤田・橋田

① 隣保館だよりの発行

発行部数 毎月4,600部

配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

5 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図る。

(1) 教養文化講座 (主) 鈴木 (副) 橋田

NO	教室名	講 師	開催曜日	時間帯
1	手芸教室	嶋田千津子	毎月第2・4木曜日	13:30～
2	茶道教室	杉本さわゑ	毎月第1・3土曜日 毎月第4木曜日	9:00～ 13:00～
3	きらきら書道	藤原常貴	毎月第1土曜日	13:00～

(2) 生活講座及び教養文化講座関連事業 (主) 鈴木 (副) 橋田

① フラワーアレンジメント教室 (年3回予定)

期 日 令和3年10月、12月、2月

場 所 総合隣保館

② 閉開講式

期 日 令和4年3月予定

場 所 総合隣保館

(3) 子ども教室 (主) 橋田 (副) 赤松

幼稚園児、小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施する。

① 夏休み子ども教室

夏休みの期間中、園児及び児童(小学生)を中心に、夏休み中の生活をリズムカルに楽しく、充実したものにする。

② 土曜子ども教室

ものづくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをとおして人権感覚を培う。

③ 子ども教室ハイキング

子ども教室に参加している子どもたちの仲間づくりを図る。

(4) 総合隣保館文化祭 (主) 藤田 (副) 橋田・鈴木

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催する。

開催にあたっては、運営委員会で内容を立案し、実行委員会で協議する。

(ア) 文化祭

期 日 令和3年12月4日(土)・5日(日)

6 社会調査(高齢者単独世帯への訪問活動) (主) 鈴木 (副) 藤田・赤松・橋田

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施する。

7 所蔵図書の整理について (主) 白髭 (副) 大坪

館で所蔵している図書資料についてデータベース化し、検索を容易にする。現在、検索方法について試作品を研究している。

1 訪問世帯とその内訳

	対象世帯数 (世帯)	対象人数(人)	単身世帯 (内80歳以上)	訪問世帯数 (世帯)	面談世帯
地区A	8	12	4 (4)	8	3
地区B	10	14	7 (5)	10	5
地区C	13	20	6 (2)	13	7
地区D	6	7	5 (1)	6	2
地区E	5	9	0 (1)	4	3
地区F	5	8	2 (1)	5	4
地区G	38	61	16 (6)	38	30
地区H	19	29	3 (1)	9	6
地区I	7	10	4 (21)	4	4
合計	111	170	47 (42)	97	64

2 経済状況とその内訳

収入形態	給与	年金	不明
人数(人)			

3 身体的状況

(1) 疾病種別

病名	人数 (人)
高血圧	8
糖尿病	6
眼疾患	1
腰痛	3
足・股関節痛	9
心臓	7
脳疾患	3
胃潰瘍	
肺疾患	3
腎・膀胱	3
手・肩痛	
精神	1
前立腺	
その他	8
不明	
合計	52

(2) 利用病院別

病 院 名	人数 (人)
北播磨医療センター	12
三木山陽病院	15
神澤医院	3
吉川病院	2
口吉川診療所	
服部病院	2
早川循環器内科	1
山口整形	1
西神戸医療センター	
大西整形	
その他	15
不明	
合計	51

(3) 障がい者手帳

障害種別	人数 (人)
身体障害 1～2級	
3～級	
合計	0

(4) 介護保険認定種別

介護種別	要介護	要支援	介護度不明	合計
人数 (人)	3			3

(5) 介護保険利用サービス別

介護サービス	ショートステイ	デイサービス	ヘルパー	特養	サービス不明	合計
人数 (人)		3	2	2		7

3 扶養関係(主に子 120名)

所在地	市内	神戸市	県内	大阪府	その他	不明
人数 (人)	34	16	24	10	22	14

【効果】

- ・訪問することにより、安否確認、健康状態、生活状態の把握をすることができた。
- ・訪問履歴や訪問者の顔を覚えていただけの声が増えた。

【課題と今後の方向性】

- ・各世帯で通院や買い物など子どもが立ち寄り、介助しているケースが増えた
- ・民生委員、支部長とはさらに連携を深め、地域の福祉的課題を解決するよう取り組んでいく。

令和2年度 総合隣保館利用状況 (令和3年3月31日現在) 【回数(回)、人数(人)】

月	主催事業				志染保育所				その他				合計			
	令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度		令和2年度		令和元年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月			18	96			13	610			25	502			56	1,208
5月			18	90			7	485			25	554			50	1,129
6月	16	60	20	319	16	755	17	870	17	241	32	752	49	1,056	69	1,941
7月	12	71	23	326	17	1,341	19	1,450	30	430	35	713	59	1,842	77	2,489
8月	12	70	29	186	10	488	12	1,960	21	284	23	418	43	842	64	2,564
9月	13	108	24	245	15	1,036	14	1,310	19	306	26	363	47	1,450	64	1,918
10月	15	120	27	501	10	538	12	660	28	427	37	572	53	1,085	76	1,733
11月	12	365	24	217	9	596	31	1,520	26	393	37	597	47	1,354	92	2,334
12月	10	123	22	192	34	2,285	23	1,800	18	244	24	273	62	2,652	69	2,265
1月	15	89	16	91	18	1,005	19	1,300	18	301	29	463	51	1,395	64	1,854
2月	9	65	13	120	41	2,450	31	1,560	23	423	31	718	73	2,938	75	2,398
3月	8	55	15	71	29	1,281	19	580	28	409	4	37	65	1,745	38	688
合計	122	1,126	249	2,454	199	11,775	217	14,105	228	3,458	328	5,962	549	16,359	794	22,521

主催事業・・・相談事業、隣保館運営委員会、人権フォーラム、文化祭、教養文化講座等

その他・・・教育事業（研修会、企画運営委員会等）、人権教育指導員研修会、啓発資料作成委員会、貸館事業（各種会議、空手、四半的弓道、ダンス等）